

1 正三角形の1辺の長さを1 cm、2 cm、3 cm、……と長さを変えていくときの、周りの長さを調べます。次の問題に答えましょう。

(1) 1辺の長さを x cm、周りの長さを y cmとして、 x と y の関係を式に表しましょう。

$$x \times 3 = y$$

(2) 1辺の長さが7 cmのとき、周りの長さは何 cmでしょう。

$$21 \text{ cm}$$

(3) 周りの長さが42 cmのとき、1辺の長さは何 cmでしょう。

周りの長さが42 cmなので、正三角形の一辺の長さを x cmとすると
 $x \times 3 = 42$
 $x = 42 \div 3$
 で求めることができます。

$$14 \text{ cm}$$

2 さゆりさんは、次のように考えました。

下のアからエまでの中で、どの積が5より大きくなるのかは計算しなくても分かります。



ア $5 \times \frac{4}{7}$ イ $5 \times \frac{1}{4}$ ウ $5 \times \frac{5}{2}$ エ $5 \times \frac{1}{15}$

積が5より大きくなる計算はどれですか。アからエまでの中からすべて選んで記号で答えましょう。

また、さゆりさんがこのように考えたわけを下の言葉に続けて説明しましょう。

答え イ、ウ

わけ (例) 分数をかけるかけ算でも、小数をかけるかけ算と同じように、1より大きい数をかけると、積はかけられる数より大きくなるから。